

企画展
タイムトラベルあいしょう4

昔ここに 戦争がありました

木津龍尊さんが遺したもの



愛荘町東円堂上空を飛ぶ軍用機 1939年



『疎開帳』1945年



軍事郵便 1939年



『宣戦』(紙芝居) 大政翼賛会宣伝部 1942年



『チョコレートと兵隊』(紙芝居) 日本教育紙芝居協会 1939年



疎開児童からの手紙 1945年



豊国国民学校運動会 1930~40年代



信光寺釣鐘の供出 1942年

2024年 3月9日(土) → 3月31日(日)

- 開館時間 / 10時~18時
- 休館日 / 月・火曜日、3/20(水・祝)、3/27(水)
- 主催 / 愛荘町立図書館・愛知川びんてまりの館

愛荘町立愛知川びんてまりの館

〒529-1313 滋賀県愛知郡愛荘町市 1673 Tel: 0749-42-4114

- 交通のご案内
- お車で: 国道8号「愛知川」信号より東へ約5分
 - 電車で: JR能登川駅からバス「市ヶ原」行乗車、「愛知川駅」下車徒歩7分または、近江鉄道「愛知川」駅下車徒歩7分 (近江鉄道は、JR米原・彦根・近江八幡のいずれかの駅でお乗り換えください。)



企画展 タイムトラベルあいしょう 4

昔ここに 戦争がありました

木津龍尊さんが遺したもの

愛荘町東円堂の信光寺には、前住職の木津龍尊さん(1906-2012)が遺した資料が大切に保管されています。その内容は多岐にわたり、地域の歴史を知る上で欠くことのできないものです。本展では、その中から、日中戦争(1937年)からアジア・太平洋戦争敗戦(1945年)に至る時期の資料を紹介し、戦争があった時代の地域の暮らしをふりかえります。

戦後78年が過ぎ、戦争の記憶を継承することが難しくなっています。106年の歳月を地域とともに歩んだ木津さんが遺したものは、消えゆく記憶を後世に伝える貴重な資料といえるでしょう。世界各地で紛争が続く今、あらためて、戦争が暮らしに与えた影響や戦禍に生きた人々に思いをはせ、平和について考える機会となれば幸いです。

第1章

軍事郵便 一戦地と銃後をつないだもの一

信光寺に残る軍事郵便は489通、差出人は80人を超え、ほとんどが地元の人々です。最前線からの近況報告や家族への思いが記された便りとともに、差出人のご家族から提供いただいた、ゆかりの資料を紹介します。



木津さんに宛てた軍事郵便 1938年

第3章

戦時下の紙芝居

信光寺には、1935年から1945年に刊行された紙芝居45点が保管されています。寺で開かれていた農繁期託児所や日曜学校で、木津さんが自ら演じたものです。童話や昔話の他、戦意高揚を目的として制作された「国策紙芝居」を紹介します。



『ゲンコツ軍曹』全甲社紙芝居刊行会 1937年

第2章

集団学童疎開の記録

1944年8月31日、信光寺に大阪市南区精華小学校4年生の男子児童35名が疎開して来ました。木津さんが受入れ当日から綴った『疎開日記』と児童の絵日記などで当時の様子をふりかえります。



『疎開日記』
1944-45年



『疎開帳』
1945年

第4章

カメラがとらえた地域の暮らし

木津さんは写真撮影を趣味とし、現像も自ら行いました。几帳面に整理されたアルバムには、農作業風景や子どもたちが遊ぶ様子など、日常の一場面をとらえた写真が多く遺されています。それらは、戦地の人々へ家族の近況を知らせるためのものでもありました。戦時下の暮らしを伝える貴重な写真を紹介します。



田んぼで昼ごはん 1938年

関連行事

いずれも展示会場にて 参加無料

ギャラリートーク

和歌山大学准教授 橋本唯子氏(元愛知川町史編さん室学芸員)と当館学芸員による展示解説会

3月10日(日) 13時30分~14時30分

申し込み不要

講演会

■講師:滋賀県平和祈念館 主査 上田智史氏

『滋賀で学ぶ戦争の記録〜語りつぐ平和への願い〜』

3月16日(土) 13時30分~15時

要申し込み/愛知川図書館 Tel.0749-42-4114

※ 講演中、一部ごらんいただけない展示があります。